

(「奈良芸能文化協会」創立総会が開催)

平成 17 年 5 月 7 日、特定非営利活動法人「奈良芸能文化協会」(理事長：西口廣宗) の創立総会が奈良市西大寺東町の秋篠音楽堂で開催された。

オープニングセレモニーでは、同協会理事のピアニスト佐藤明子さんが「ショパン 幻想即興曲作品 66」を独奏し、同専務理事の声楽家山口佳恵子さんが「やまとは國のまほろば」をピアノ・尺八の伴奏に合わせて独唱した。創立総会の後、エンディングでは南都楽所が春日舞楽「納曾利(なそり)」を披露した。

協会創立の背景には、奈良では大陸からもたらされた伎楽、舞楽、雅楽などの伝統芸能と声明、古来の神楽、中世の能などの民俗芸能が残っているが、これらの伝統芸能は、人が身体をもって継承する必要があり、後継者難や資金不足などから、一部を除いて存亡の危機に瀕している状況があった。

本協会は、こういう状況を打破するため、住民を中心に、国、社寺、自治体、民間企業、文化団体などの参画を得て、奈良の伝統芸能の継承保存、芸能文化の振興と地域の活性化に寄与することを目的に創立された。

今後は、伝統芸能の公演、奈良の世界遺産を紹介する企画、伝統芸能と海外の音楽、舞踊、演劇の国際交流を推進、秋篠音楽堂運営協議会、奈良

市国際音楽交流協議会、日本トスティ協会の三団体への援助などの事業を行っていく。(上田)



「奈良芸能文化協会」設立総会



南都楽所の春日舞楽「納曾利(なそり)」

これからの主な催し

[主な行事]

●6月 23日 (木)

大安寺 竹供養

古くから日本人の生活に密着してきた竹の靈を供養する。ガン封じに薬効があるといわれる笹酒の接待もある。

JR、近鉄奈良駅より大安寺行きバス

大安寺下車 徒歩 10 分

●7月 7日 (木)

金峯山寺 蓮華会 蛙飛び

蓮華会は役行者が産湯をつかったと伝えられる大和高田市奥田にある弁天池の清浄な蓮を

蔵王権現に供える法会。

蛙飛びは、輿に乗ったぬいぐるみの大蛙が町内を飛び歩いた後、蔵王堂の仏前で修法により人間に戻る行事。

近鉄吉野駅ロープウェイ山上駅下車徒歩 10 分

●7月 23日 (土)

伝香寺 地蔵会 (着せ替え法要)

「裸のお地蔵さん」と知られている秘仏地蔵菩薩立像が特別開扉される。衣の着せ替えは何よりの供えとして、興福寺の妙法尼が母の菩提を弔うため 1228 年より始められている。

JR、近鉄奈良駅より徒歩 10 分